

## 三段山 ～登山靴をザックにしのばせて～

日時: 2025 年 9 月 8 日

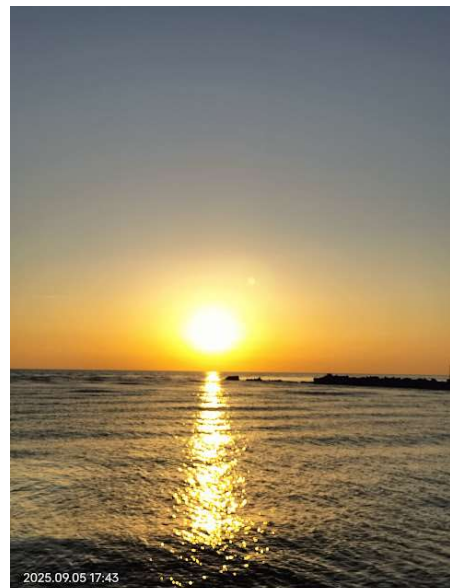
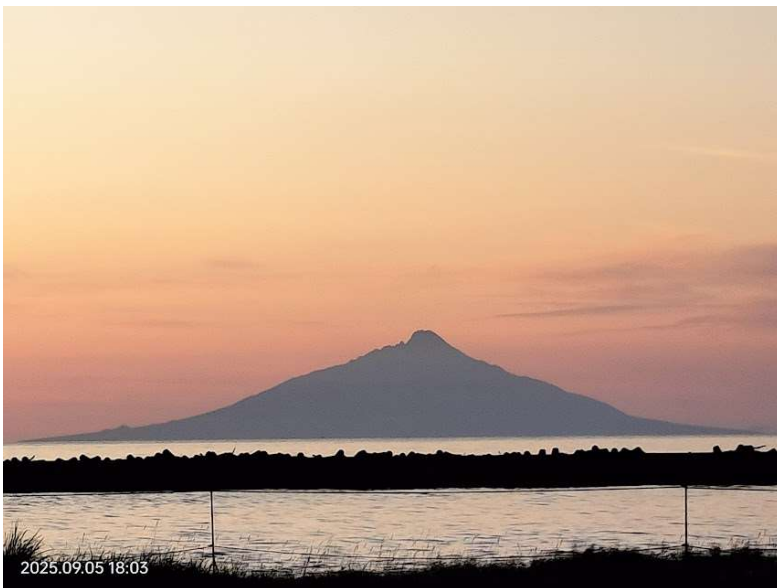
メンバー: A 原

ここ 3 年ほど、推しのコンサートが北海道旭川であるたんにコンサートのついでにお山に登っている。

黒岳、旭岳、十勝岳などなど。今年はお山でなく温泉とグルメそしてのんびりソロキャンにするつもりだった。気が向いたらハイキングかな、と思いいちおうザックに登山靴を入れてみた。

コンサートのあと旭川のビジホに泊まった翌 9/5 レンタカーで稚内を目指した。べつに稚内に行くつもりは無く手前のどこか利尻島が見えるところに泊まりたいと思った。

で、天塩の海辺のキャンプ場。目の前の海を隔ててきれいな利尻富士があって夕日とともに「光の道」も現れた。



9/6 今朝は曇って利尻が見えない。海も時化ていた。今日は馴染みの白銀荘まで長距離ドライブ。白銀荘でテント泊のつもりが夜から降雨予報なのであっさり白銀荘泊り。はは。

9/7 雨。「かみふらの十勝岳ヒルクライム」が開催され、ほぼ終日、白銀荘～富良野方面の道路が通行止めになったので美瑛へドライブ。今日も白銀荘泊まり。

9/8 すごくいい天気。今日も一番乗りで朝風呂に入った。露天風呂のいつもの場所に陣取り、前十勝の黒い山肌にあがる白い噴煙を見ていた。「だらだらと過ごす」という当初の目的通りの毎日だったが、とうとう帰郷の日を迎えてしまった。うむ～。

この快晴が私の小さな山や魂に火をともした。なんて大げさなことではなく、ちょっと裏山に行く感じで三段山に行くことにした。登山靴も持ってきたしね。

8:15 登り始めは十勝温泉凌雲閣から。ハイカーはちらほら見かけたがみんな上ホロや十勝岳に向かうのか、三段山方面へ行く人は見られなかった。

クマ鈴が無かったのでラヂオをかけてときどき笛を吹きながら歩いた。

富良野岳が大きいな。とおく旭岳のほうも見えた。

傾斜が出てきて怠慢な日常を送っていたカラダにはちとキツイ。山頂直下はガレたルンゼを上がる。

9:20 山頂とうちゃこ。先行者が 1 名いたがすれ違いに下山していった。

富良野岳から上ホロ、そして十勝岳へのスカイラインが素晴らしかった。自身の体力と優しいポーターが確保できればいつか歩いてみたいけど、どうかな。

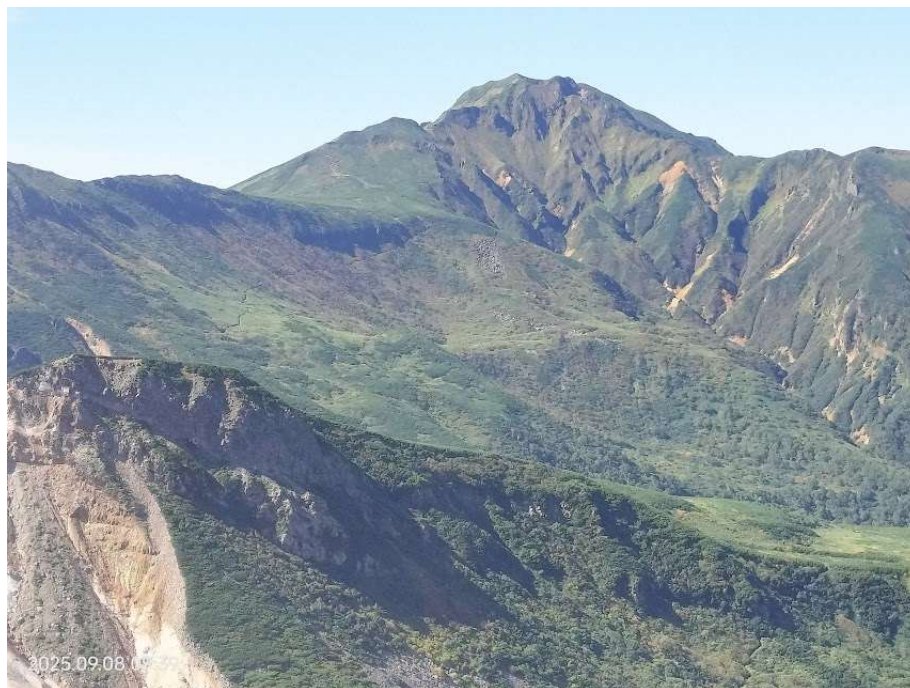
三段山から白銀荘への緑のスロープは何度も滑った斜面だ。いまは一面の緑だが、雪の時季また逢いましょう。

20 分ほど山頂でのんびりして下山。

途中シマリスの朝食中を見守って、10:25 登山口に着いた。2 時間ほどの朝活となった。

お風呂は白銀荘で「再度入館」扱いで 350 円。

また来年これるかな。



#### 【コースタイム】

9/8 8:15 十勝温泉凌雲閣－9:20 三段山－10:25 凌雲閣

おしまい

記:A 原